

■ 大田区立赤松小学校校舎（棟番号⑪－１ほか）取壊し
及び外構整備その他工事
工事説明会

当日質問及び回答（令和８年７月２７日）

No.	質 問	回 答
1	アスベスト事前調査の実施時期について 12 ページの「①作業前の事前調査結果」について、いつ頃実施されるのか。	・8 月初旬に調査を実施し、8 月中には結果が出る予定です。
2	一期・二期工事終了後の近隣からの反応について 一期工事・二期工事終了後、周辺住民からどのような声が上がったか。	・校舎新築工事をやめてほしいという大きな苦情は現時点ではありませんでした。 ・「今日は振動が少し強い」「音がうるさい」といった個別のお話が入ることはありました。 ・住民の皆様にご理解いただいていることに感謝しております。
3	解体時の騒音・振動、コンクリート破砕の方法について 以前、近隣の民間建物解体時にコンクリートを大割りした後、細かく砕く作業が長期間続いた。今回も同様か。また、近隣で別の民間新築工事が 8 月から始まると聞いているが、トラック動線の調整はできないか。	・コンクリートを細かく砕くのは、鉄筋とコンクリートを分別し、再生砕石として再利用するためです。 ・なるべく大きく割り、圧砕機で細かくする方法を採用し、打撃音を最小限に抑えていきます。 ・近隣工事との動線調整については、以前も隣接敷地工事の際に連絡・調整を行った実績があります。今回も周辺工事の情報を収集し、車両動線が大きく重なる場合は情報共有・調整を行ってまいります。 ・搬入動線は主に幅の広い道路からの一方通行を基本とし、連続搬入を避けるなど時間調整を行います。
4	解体工事による振動の程度・期間について 以前の解体工事時に大きな揺れを感じ、精神的にも大変だった。今回も同様の振動が起きるのか。期間はどのくらいか。また、振動を軽減する方法はあるか。	・同規模の建物を解体するため、同程度の振動が発生する可能性があります。 ・今回は前回と反対側（敷地の反対側）での作業となるため、感じ方が異なる可能性もあります。 ・比較的大きな振動が続く期間：令和 8 年 11 月上旬～令和 9 年 4 月上旬頃 ・振動軽減策：物を丁寧に倒す・下ろす、砕いたコンクリートをクッション材として下に敷く、仮設通路にマット等を敷くなどを検討してまいります。
5	解体工事による振動の程度・期間について 前回工事では機械のモーター音も含め、1 日中騒音・振動に耐えるのが非常に辛かった。部屋を借りてほしいと要望したが対応されなかった。 トラック通行による振動も相当なもので、近隣住民も困っている。 十分な配慮をお願いしたい。	・極力丁寧な作業・移動を心がけます。 ・仮設通路にマット等を敷くなど振動低減策を検討いたします。 ・我慢できないほどの振動・騒音があれば、遠慮なく連絡してください。その都度作業方法等を検討の上実施してまいります。

6	児童の学習環境への影響・グラウンド使用について 子供たちの学習への影響が心配。また、仮囲い外のスペースは児童が使用できるのか。	・大田区内では現在 10 校以上で同様の改築工事を実施しており、学力低下は確認されておりません。 ・学校と定例会を定期的を開催し、重要なイベント・学習時には作業を一時停止するなどの対応を行っています。 ・気づいた点があれば学校へ連絡いただくか、区へ直接連絡いただいても構いません。 ・今回の工事中は一部がヤードとして使用されますが、できる限りグラウンドを使えるよう配慮しております。 ・今回の工事完了後、別契約でグラウンド整備工事が予定されており、その際は全面使用不可となりますので、仮グラウンドの確保を検討しております。
---	---	---